


授業の概要

校種	小学校				
授業日時	2014年7月2日～10日	学年	5	教科	社会
単元名	米作りのさかんな地域				
単元の目標	<p>・日本の米作りや米作りに従事している人々の工夫や努力について、地図や統計などの資料を活用したり、インターネットで生産地が発信する情報を集めたりして調べる。</p> <p>・安全で良質な米を生産するために、いろいろな工夫や努力をしていることや、地形や気候などの自然条件や社会的な条件を生かして生産を高める努力をしていることなどをまとめ、理解できる。</p>				
単元の流れ	<p>①わたしたちの食生活と米</p> <p>②米作りのさかんな横手盆地</p> <p>③品種改良と耕地整理</p> <p>④米作りの問題点</p> <p>⑤これからの米作り</p>				
本時の目標	<p>・米作りのさかんな地域の特色や、米作りに従事している人々の工夫や努力について調べ、人々の願いについて考えることができるようにする。</p>				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習				

ICT活用場面

授業場所	普通教室				
ICT機器活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他				
	その他				
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業作り指導員				
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	その他				
活用コンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	その他	Note Anytime			
タブレット活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一台 <input type="checkbox"/> 学習班に一台				
活用の効果	<p>・電子黒板に投影することで、学習課題を明確にできる。</p> <p>・Note Anytimeを活用することで、ワークシートにまとめる作業が効率的にできる。</p> <p>・SKYMENUの活用で、複数のワークシートを共有、話し合いを深めることができる。</p>				

授業の展開

学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>わたしたちの食生活と米について、本単元のめあてを持つ。</p> <p>◎SKYMENUに以下の4つのフォルダを作成、テーマにそった資料を用意し、Note Anytimeで開いて、それぞれの課題や考えをマーキングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りのさかんな横手盆地 ・品種改良と耕地整理 ・米作りの問題点 ・これからの米作り <p>◎それぞれのテーマで出た意見を前に提示する。</p> <p>◎先生が実際に米づくり体験をしてきた様子を写真で提示する。 現在の農業従事者の状況、問題点について調べ、課題解決について考える。</p> 		<p>前時までの学習内容をデジタル教科書で確認することができる。</p> <p>既存の資料を利用することで、いろいろな課題に取り組むことができる。</p> <p>タブレットをAppleTVに投影することで、自分の席で立って即座に発表できる。</p> <p>SKYMENUに保存することで、お互いの考えをすぐに共有することができる。</p> <p>電子黒板にマーキングすることで、考えを共有できる。</p> 